

講義名	会社法(経営学科)			授業形態	
担当教員	河野 総史	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	LAW360

主題と概要
本講義では、会社法の基礎知識の学習を通じて、ビジネスにおいて会社（特に株式会社）が担う重要な役割を理解する。

到達目標
会社法の基礎知識の学習を通じ、ビジネスにおいて株式会社が必要なのは何かを理解することを目標とする。

提出課題
毎回小テスト（講義の理解度チェック）を実施する。 期末レポートを提出してもらう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
小テストについては実施直後に解説を行う。 期末レポートについては、全体についての講評をポータルサイトを通じて開示する。また、希望者には個別に返却した上でコメントする。

評価の基準
小テスト50点、期末レポート50点の、合計100点満点とし、60点以上を合格とする。

履修にあたっての注意・助言他
本講義では会社法の様々なルールを学びますが、それらのルールを暗記することが目的ではなく、何故会社が必要なのか（個人が商売するだけでは駄目なのか）を理解することを目的としています。常に考えながら受講するよう心掛けて下さい。

教科書					
.使用しない.					
参考図書					
.なし.					

その他
講義レジュメを配布する。

授業計画
第 1 回 講義イントロダクション 会社法とは 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 2 回 会社の種類 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 3 回 株式の種類株式 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 4 回 株式 株式の譲渡・譲渡制限 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 5 回 株式 自己株式・親会社株式取得規制 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 6 回 株式 投資単位の調整 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 7 回 機関 株主総会 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 8 回 機関 取締役・取締役会 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 9 回 機関 監査役・会計参与・会計監査人 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 0 回 機関 指名委員会等設置会社・監査等委員会設置会社 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 1 回 資金調達 募集株式 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 2 回 資金調達 新株予約権・社債 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 3 回 増資再建(M&A) 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 4 回 上場会社規制としての金融商品取引法 予習：事前に配布するレジュメに講義内容に関わる事例が書いてあるので、その事例について自分なりに考えて講義の準備をする（120分） 復習：講義内容を復習し、小テストに備える（120分） 第 1 5 回 総まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
ア：PBL（課題解決型学習）			イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		○	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション			カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本学のディプロマポリシーの、「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」を育成することを念頭に講義を実施する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
事例（判例）を題材に、適宜グループワークをしてもらう予定である。

実務経験の有無及び活用

備考